

aiwa

コンパクトデジタルカメラ

aiwa cam DCB-3

JA6-DCM0004

ユーザーマニュアル

aiwa

コンパクトデジタルカメラ

aiwa cam DCB-3

ご使用の前に

本製品を正しくご使用していただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は大切に保管し、わからないことや困ったことがあったときにお役立てください。

- 本書の内容を無断で転載や複写をしないでください。
- 記載の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 当社では常に製品の品質改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差があるものがございますがご了承ください。
- 本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

目次	3	電池の挿入 / 取り外し	21
はじめに	5	電池を挿入する	21
セット内容	5	電池を取り外す	23
ご使用前のおことわり	6	SD カードの挿入 / 取り外し	24
安全上のご注意	7	microSD カードを挿入する / 取り外す	24
警告	8	充電	26
注意	10	充電する	26
使用上のご注意	12	電源オン / オフ	27
お手入れに関して	12	電源オン	27
結露（つゆ付き）に関して	12	電源オフ	27
廃棄について（リサイクル）	13	モード切替	28
各部名称	14	写真撮影 / ビデオ撮影を切り替える	28

目次

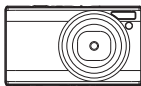
ディスプレイの回転.....	29	ビデオの再生.....	44
ディスプレイを回転する.....	29	本体設定.....	45
写真撮影.....	30	本体設定.....	45
写真撮影画面.....	30	パソコンとの接続.....	48
写真を撮影する.....	32	パソコンと接続する.....	48
写真設定.....	34	パソコンの外部カメラとして使用する.....	49
ビデオ撮影.....	37	パソコンで充電する.....	50
ビデオ撮影画面.....	37	トラブルシューティング.....	51
ビデオを撮影する.....	39	故障かなと思ったら.....	51
ビデオ設定.....	41	仕様.....	54
写真 / ビデオの再生.....	43	アフターサービス.....	55
写真の再生.....	43		

セット内容

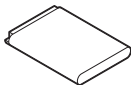
本製品のパッケージ内には以下のセット内容が含まれます。ご確認ください。

※イラストと実際の形状は、変更になるなど、若干異なる場合があります。

☐ 本体



☐ 電池



☐ USBケーブル



☐ ストラップ

☐ クリーニングクロス

☐ ユーザーマニュアル
(本書、保証書付き)

☐ キャリングポーチ

ご使用前のおことわり

- お客様、または第三者が本製品のご使用を誤ったことによって生じた故障や不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 停電や電力線上のノイズなどの外部要因、または天災や原因不明のネットワーク障害、その他の不可抗力によってお客様または第三者が受けられた損害（データの損失、その他の直接的、間接的な損害）、またはそれらによって生じた故障、もしくは不具合については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者が本製品の使い方を誤った場合や、静電気や電氣的ノイズの影響を受けた場合、または故障、修理の際は、記録内容が変化したり、消失したりする恐れがあります。
- 重要な内容は、必ずパソコンなどほかの記録媒体にバックアップしてください。

次の警告表示は、注意事項を守らなかった場合に起こりうる事故の程度を表します。



取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されるもの



取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるもの、または物的損害(※3)の発生が想定されるもの

※1：重傷とは、失明やケガ、火傷(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。

※2：傷害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要さないケガや火傷、感電などを指します。

※3：物的損害とは、家屋、家財、および家畜やペットなどにかかわる拡大損害を指します。



警告

○下記の問題が発生した場合は、ただちにケーブルを外してください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

- ・使用中・充電中・保管時に、発煙・異臭・異音などが発生した場合
- ・本製品内部に水や異物が入った場合
- ・本製品を落とした場合
- ・本製品が破損した場合

○コードが傷んだり、AC電源アダプターが異常に熱くなった場合は、ただちに本体の電源をオフにし、接続を外してください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

上記の問題が発生した場合は、ケーブルを取り外した後、サポートセンターにご連絡ください。

- 本体内部に水が入ったり、ぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。
- 風呂場、シャワー室などでは使用しないでください。感電や回路のショートなどによる火災や故障の原因となります。
- 本体内部に異物を入れたり、端子部に接触させたりしないでください。金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入ったり、端子部に接触したりした場合、火災や感電などの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- ぬれた手でケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 修理、改造、分解をしないでください。火災や感電の原因となります。
- テーブルクロスやカーテンなどを掛けしないでください。じゅうたんやふとんの上に置かないでください。
- 自動車やバイク、自転車などの運転中や歩行中は本製品を操作しないでください。交通事故の原因となります。

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください



警告

- 本体や充電電池を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。充電電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、大ケガや火災の原因になります。
- 梱包で使用しているビニール袋は乳幼児の手の届く所に置かないでください。鼻や口をふさいで窒息するなど、ケガの原因となることがあります。
- 落としたり、投げたりして衝撃を与えないでください。本製品の故障の原因となるおそれがあります。
- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。本体が落下してケガの原因となります。
- 充電電池の液漏れや、変色、変形そのほかの異常があった場合は、ただちに使用を中止してください。充電電池から漏れた液体が皮膚や服についた場合は、ただちに水で洗浄してください。万一、液体が目に入ってしまった場合には、ただちに大量の水で洗浄し、医師に相談してください。
- 充電電池の充電が所定充電時間を超えても完了しない場合は、充電を中止してください。
- ディスプレイが破損し、液漏れした場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、ただちにきれいな水で洗い流し、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐに拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
- 下記の場所で充電・使用・放置しないでください。本製品の故障、感電、火災などの原因となります。また、部品の劣化や破損の原因となります。
 - ・直射日光の当たる場所、ストーブのそば、炎天下の車内など、温度の高い場所
 - ・高温多湿の環境、油煙、ホコリの多い場所
 - ・押し入れや箱の中など、風通しの悪い場所

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください



注意

- 本製品の上に物を載せたり、本来の目的以外に使用したりしないでください。ケガや故障の原因になります。
- 本体を金属などでこすったり引っかいたりしないでください。傷つくことがあり故障や破損の原因となります。
- 本製品に磁気を帯びたものを近づけないでください。強い磁気を近づけると誤作動の原因となります。また、磁気カードなどを本製品に近づけないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 本製品を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがありますので注意してください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならない場合は、安全のためケーブルを抜いてください。万一故障してしまった場合、火災の原因となることがあります。
- 本製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、ただちに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診断を受けてください。
- お使いになる方によっては、ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返す画面を見たりした際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合があります。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、ただちに使用を中止して医師の診断を受けてください。
- USBケーブルを抜き差しするときは、金属製のストラップなどの金属類を接触させないでください。火災や感電の原因となります。



注意

- USBケーブルを抜くときは、ケーブルを無理に引っ張らないでください。ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。
- 端子に付いたほこりは、乾いた布で拭きとってください。火災や感電の原因となります。
- お手入れのときや長期間使用しないときは、ケーブルを抜いてください。火災や感電の原因となります。
- 端子がうまく差し込めないときは、端子の形や向きを確認してから差し込んでください。無理に差し込むと故障や破損の原因となります。
- パソコンと本製品を通信する場合、USBケーブルはパソコンのUSB端子に直接接続してください。市販のUSBハブなどを使って接続すると、正しく動作しない原因となります。
- USBケーブルを接続して本製品をご利用になる場合は、端子部に負荷をかけないように注意してください。
- 水などの液体が入った場合は、ただちにケーブルを抜いてください。火災や感電の原因となります。
- USBケーブルを使用して充電する場合は、長時間本製品に接続しないでください。長時間の接続に起因する不具合は保証対象外となる場合があります。

使用上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください

お手入れに関して

- 本体の汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は、布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
ベンジンやシンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

結露(つゆ付き)に関して

- 結露が発生した状態で本製品を使用すると、故障の原因となる場合があります。結露は以下の状況で発生する場合があります。
 - ・寒い場所から急に暖かい場所へ本製品を持ち込んだ時
 - ・暖房をつけ始めた場所や、エアコンなどの冷風が直接あたる場所で使用した時
 - ・冷房がついた部屋、車内などから急に温度、湿度の高いところに移動して使用した時
 - ・湿気の多い場所で使用した時
- 結露が発生した場合は本製品をすぐに使用しないでください。本製品を2～3時間程度室温で放置し、付着した水滴がとれるまでお待ちください。

廃棄について(リサイクル)

○箱や緩衝材

パッケージの分別方法は地域によって異なります。お住いの市町村の指示に従って分別排出をしてください。識別マークは外箱に表示されています。

○製品

本製品に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルできます。

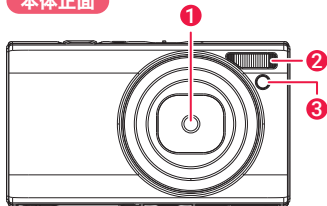
使用しなくなった製品は、一般のごみと一緒に廃棄せず、付属品も含めてお住いの地域の自治体の条例または規則に従って処分してください。



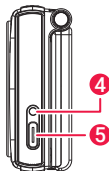
Li-ion

各部名称

本体正面



本体右側面



各部名称

① カメラレンズ

② フラッシュライト

暗所での撮影でフラッシュを光らせて撮影できます。

③ AF補助光

暗い場所でピントが合いにくいときに、一時的に光を照射します。ピントを合わせやすくします。

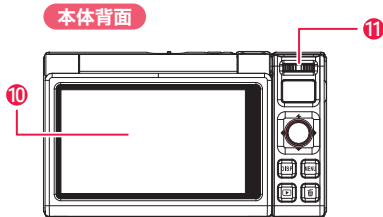
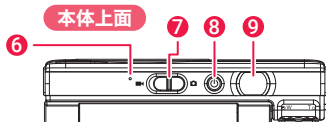
④ 充電LED

充電時に赤色に点灯します。
充電が完了すると消灯します。

⑤ USB Type-C端子

付属のUSBケーブルと市販のAC電源アダプターを接続して充電したり、パソコンに接続してPCカメラとして利用したり、データを転送したりします。

各部名称



各部名称

⑥ マイク

この位置にマイクが設置されています。

⑦ モード切り替えスイッチ

写真撮影/ビデオ撮影を切り替えます。

⑧ 電源ボタン

⑨ シャッターボタン

写真/ビデオを撮影します。

⑩ ディスプレイ

撮影時の映像や本製品の情報が表示されます。

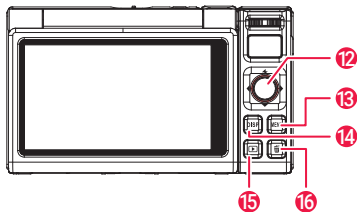
- ディスプレイ部分は180度回転させることができます。自撮りのときなどで使用できます。
- タッチパネルではありません。

⑪ ズームキー

- ・写真/ビデオ撮影時
キーを右に押すとズームイン、左に押すとズームアウトします。
キーの中央を押すと露出補正の機能に切り替わります。左右に押して露出補正を調整できます。
- ・写真/ビデオ再生時
プレビューしているときは写真を拡大/縮小できます。

各部名称

本体背面



各部名称

⑫ 方向キー

・メニュー選択時
上下左右に押して項目を選択し、中央を押して決定します。

・写真撮影時
⚡ フラッシュライト
▶ 連写
◀ タイマー撮影

・ビデオ撮影時
⚡ フラッシュライト
◀▶ ループ撮影

・再生モード時
左右に押して撮影した写真/ビデオを選択できます。

⑬ メニューボタン

写真/ビデオ撮影モードそれぞれの設定を表示します。

⑭ 画面表示ボタン

撮影時に画面表示を「アイコンなし」→「画面オフ」→「アイコンあり」の順に切り替えます。

⑮ 再生ボタン

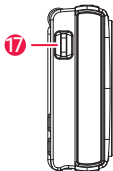
再生モードに切り替えます。再生モードでは撮影した写真/ビデオを表示/再生できます。

⑯ 削除ボタン

再生モードで、撮影した写真/ビデオを削除できます。

各部名称

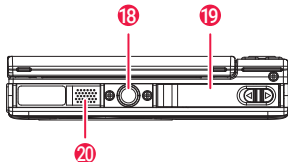
本体左側面



17 ストラップホール

付属のストラップ等を取り付けます。

本体底面



19 電池カバー

カバーを開けて電池や市販のmicroSDカードを取り付け/取り外しできます。

18 三脚取り付け部

市販の三脚を取り付けできます。

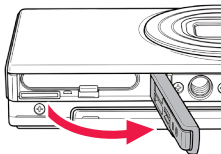
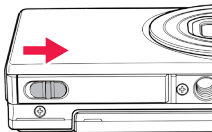
20 スピーカー

電池の挿入/取り外し

電池を挿入する

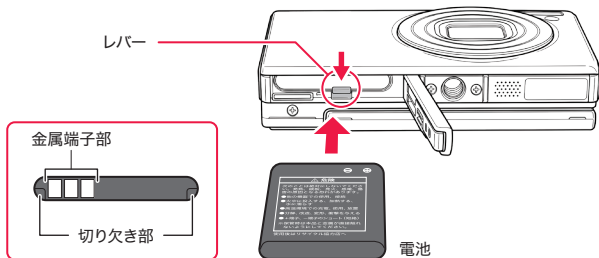
下記の手順で電池を挿入します。

- ① 電源をオフにします。
- ② 下図のように、レンズが上向きの状態で、底面の電池カバーのロックを右にスライドしてカバーを開きます。



電池の挿入/取り外し

- ③ 内部のレバーを下げながら電池を挿入します。電池は切り欠き部を下にして、金属端子部を本体側に向けて挿入します。



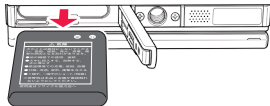
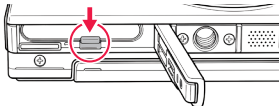
- ④ 電池カバーを閉じて、スライドさせて閉めます。

電池の挿入/取り外し

電池を取り外す

下記の手順で電池を取り外します。

- ① 電源をオフにします。
- ② レンズが上向きの状態で、底面の電池カバーのロックを右にスライドしてカバーを開きます。
- ③ 内部のレバーを下に下げます。電池を取り外しできるようになります。



- 電池は本製品付属のものをお使いください。それ以外の電池は使用しないでください。
- 電池を取り外しすると本製品の日時を再度設定する必要があります。あらかじめご了承ください。
- 電源がオンの時に電池を取り出ししないでください。データが破損する場合があります。
- 出し入れの際は電池の飛び出しにご注意ください。

SDカードの挿入/取り外し

microSDカードを挿入する/取り外す

写真/ビデオの撮影をする場合、データを保存するため、microSDカード（市販品）を本製品にセットする必要があります。

- ① 電源をオフにします。
- ② レンズが上向きの状態で、底面の電池カバーのロックを右にスライドしてカバーを開きます。
- ③ microSDカードを挿入/取り外します。

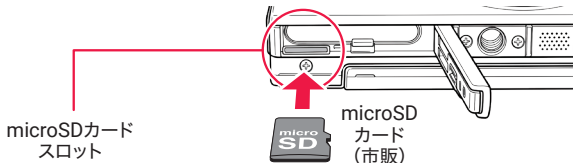
挿入する場合

microSDカード（市販）の金属端子面を下にして、電池の下のmicroSDカードスロットに「カチッ」と音がするまでゆっくりと差し込みます。

取り外しする場合

microSDカード（市販）を軽く奥に押し込みます。microSDカードが押し出されるので、ゆっくりと引き抜きます。

SDカードの挿入/取り外し



④ 電池カバーを閉じて、ロックをスライドさせて閉めます。

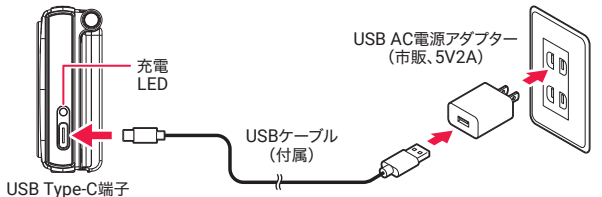
- 誤った向きで無理に挿入すると、microSDカードやデータが破損する場合があります。
- ほかの機器で利用していたmicroSDカードは、本製品で正常に使用できない場合があります。
- microSDカードを本製品で使用する際は、カードのフォーマット（初期化）が必要になる場合があります。フォーマットするとカードに保存されていたデータはすべて削除されます。ご注意ください。
- すでにデータが保存されたmicroSDカードは本製品で使用しないでください。データの損失やそれによって生じた問題について、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 電源がオンの時にmicroSDカードを取り出ししないでください。データが破損する場合があります。
- 出し入れの際はmicroSDカードの飛び出しにご注意ください。
- U3以上のmicroSDカードの使用を推奨します。

充電

充電する

本製品に電池を装着した状態で、付属のUSBケーブルを使用して、市販のUSB AC電源アダプター（5V2A）で充電できます。充電時には充電LEDが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。

本体右側面

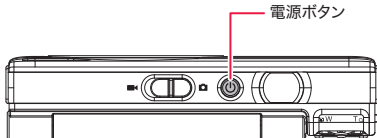


電源オン/オフ

電源オン

電源オフ時に本体上面の電源ボタンを約2秒長押しすると、ディスプレイに起動画面が表示され、電源がオンになります。

本体上面



電源オフ

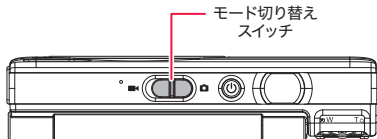
電源オン時に本体上面の電源ボタンを約2秒長押しすると、終了画面が表示され、電源がオフになります。

モード切替

写真撮影 / ビデオ撮影を切り替える

本体上面のモード切り替えスイッチで写真撮影 / ビデオ撮影を切り替えできます。「」側にスイッチを動かすと写真撮影モードになります。「」側に動かすとビデオ撮影モードになります。

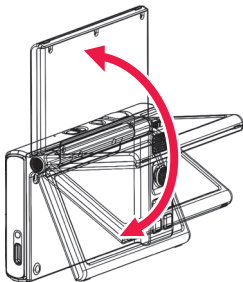
本体上面



ディスプレイの回転

ディスプレイを回転する

ディスプレイ部分は180度回転させることができます。自撮りのときなどで使用できます。



写真撮影

写真撮影画面

写真撮影の画面です。画面には撮影時の情報が表示されます。



① 写真撮影モード表示

② フラッシュ撮影設定

写真撮影

③ ホワイトバランス

④ 画質

⑤ 手ブレ補正

⑥ 撮影可能枚数

- 撮影可能枚数はあくまで目安です。実際と異なる場合があります。

⑦ microSD カード 挿入/未挿入

⑧ 電池残量

⑨ 連写/セルフタイマー

⑩ 測光モード

⑪ 効果

⑫ 露出補正モード表示

⑬ 露出補正

⑭ ISO 感度

⑮ 画像解像度

⑯ ズームスライダー

⑰ ズームモード表示

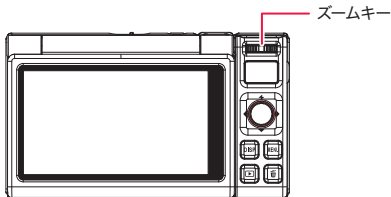
- ズームキーの中央を押すと露出補正モードとズームモードを切り替えられます。

写真撮影

写真を撮影する

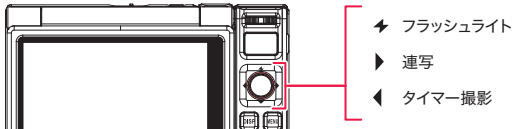
下記の手順で写真を撮影します。

- ① モード切り替えスイッチを「」側にして写真撮影モードにします。
- ② ズームキーを左右に動かしてズームイン、ズームアウトできます。



写真撮影

③ 必要に応じて方向キーで設定をすばやく変更できます。



④ その他の設定は、メニューボタンを押して変更できます。

⑤ シャッターボタンを半分だけ押し続けると、自動的に画面中央の被写体にピントが合います。ピントが合うと画面中央の枠線が赤色から緑色に変わります。そのままボタンを押すと写真が撮影されます。撮影された写真はmicroSDカードに保存されます。

● 本製品の撮影推奨距離は30cm以上です。30cm以下の距離でも対象物にピントを合わせて撮影できますが、画面中央の枠線が赤色から緑色に変わりません。

写真撮影

写真設定

写真撮影モードでメニューボタンを押すと写真設定画面が表示されます。方向キー↑↓で項目を選択し、方向キーの中央を押して決定します。方向キー←→で写真設定と本体設定を切り替えます。本体設定については45 ページを参照してください。

写真設定

本体設定



画像解像度	12M
縦横比	16:9
タイマー撮影	オフ
自動撮影	オフ

写真撮影

画像解像度	写真の解像度を設定します。
縦横比	写真の縦横比を選択します。
タイマー撮影	タイマー撮影の秒数を設定します。
自動撮影	自動撮影の間隔（秒数）を設定します。
連写	連写撮影時の撮影枚数を設定します。
画質	画質を設定します。
ISO感度	ISO感度を設定します。
効果	写真に選択した効果を加えます。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを設定します。
露出補正	露出補正を設定します。

写真撮影

測光モード	測光モードを設定します。
フラッシュ撮影	フラッシュのオフ/オン/自動を設定します。
AF補助光	AF補助光のオン/オフを設定します。オンにすると、暗い場所でピントが合いにくいときに、一時的に光を照射します。ピントを合わせやすくします。
手ブレ軽減	手ブレ軽減機能のオン/オフを設定します。

ビデオ撮影

ビデオ撮影画面

ビデオ撮影の画面です。画面には撮影時の情報が表示されます。



ビデオ撮影

① ビデオ撮影モード表示

② フラッシュ撮影設定

③ ホワイトバランス

④ 録画可能時間

- 録画可能時間はあくまで目安です。実際と異なる場合があります。

⑤ microSD カード 挿入/未挿入

⑥ 電池残量

⑦ マイクオン/オフ

⑧ 測光モード

⑨ 効果

⑩ 露出補正モード表示

⑪ 露出補正

⑫ ISO 感度

⑬ ビデオ解像度

⑭ ズームスライダー

⑮ ズームモード表示

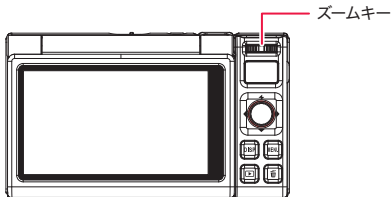
- ズームキーの中央を押すと露出補正モードとズームモードを切り替えできます。

ビデオ撮影

ビデオを撮影する

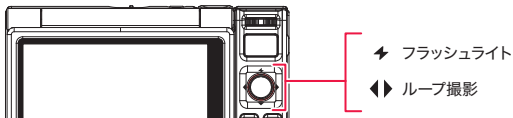
下記の手順でビデオを撮影します。

- ① モード切り替えスイッチを「」側にしてビデオ撮影モードにします。
- ② ズームキーを左右に動かしてズームイン、ズームアウトできます。



ビデオ撮影

③ 必要に応じて方向キーで設定をすばやく変更できます。



④ その他の設定は、メニューボタンを押して変更できます。

⑤ シャッターボタンを半分だけ押し続けると、自動的に画面中央の被写体にピントが合います。ピントが合うと画面中央の枠線が赤色から緑色に変わります。そのままボタンを押すとビデオ撮影が開始されます。画面下部に録画時間が表示されます。再度シャッターボタンを押すと撮影を終了します。撮影されたビデオはmicroSDカードに保存されます。

- 撮影中もシャッターボタンを半分だけ押し続けてピントを合わせることができます。
- 本製品の撮影推奨距離は30cm以上です。30cm以下の距離でも対象物にピントを合わせて撮影できますが、画面中央の枠線が赤色から緑色に変わりません。
- 長時間撮影する場合、ビデオファイルは5分ごとに分割されて保存されます。

ビデオ撮影

ビデオ設定

ビデオ撮影モードでメニューボタンを押すとビデオ設定画面が表示されます。方向キー↑↓で項目を選択し、方向キーの中央を押して決定します。方向キー←→でビデオ設定と本体設定を切り替えられます。本体設定については45 ページを参照してください。

ビデオ設定

本体設定

ビデオ解像度	4K 30FPS
録音	オン
ループ録画	オフ
タイムラプス	オフ

ビデオ撮影

ビデオ解像度	ビデオの解像度 /FPSを設定します。
録音	音声を録音するか設定します。
ループ録画	ループ録画のビデオの長さを設定します。ループ録画を設定するとカードの空き容量が少なくなったときに古いビデオファイルを上書きします。
タイムラプス	タイムラプス撮影を設定します。
ISO 感度	ISO 感度を設定します。
効果	動画に選択した効果を加えます。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを設定します。
露出補正	露出補正を設定します。
測光モード	測光モードを設定します。
フラッシュライト	フラッシュのオン/オフを設定します。

写真/ビデオの再生

写真の再生

撮影した写真を再生します。

① 本体上面のモード切り替えスイッチで写真撮影モードに切り替えます。

② 再生ボタンを押します。最後に撮影した写真が表示されます。

③ 写真の操作は下記のとおりです。

ズームキー：キーを左右に動かして写真を縮小/拡大します。方向キーの中央を押して縮小/拡大を終了します。

方向キー→：次の写真を表示します。写真拡大時は右方向に画面を移動します。

方向キー←：前の写真を表示します。写真拡大時は左方向に画面を移動します。

方向キー↑：写真拡大時は上方向に画面を移動します。

方向キー↓：写真拡大時は下方向に画面を移動します。

削除ボタン：削除メニューを表示します。「OK」で写真を削除します。

再生ボタン：前の画面に戻ります。

写真/ビデオの再生

ビデオの再生

撮影したビデオを再生します。

① 本体上面のモード切り替えスイッチでビデオ撮影モードに切り替えます。

② 再生ボタンを押します。最後に撮影したビデオが表示されます。

③ ビデオの操作は下記のとおりです。

方向キー中央：ビデオを再生/一時停止します。

方向キー→：次の動画を表示します。

方向キー←：前の動画を表示します。

方向キー↑：再生中に音量を上げます。

方向キー↓：再生中に音量を下げます。

削除ボタン：削除メニューを表示します。「OK」でビデオを削除します

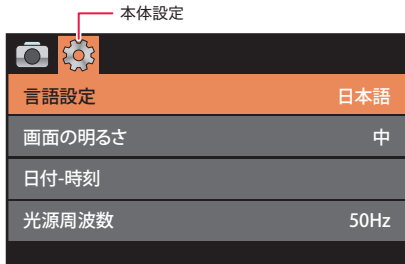
再生ボタン：前の画面に戻ります。

本体設定

本体設定

写真撮影/ビデオ撮影モードで「メニューボタン」を押すと、写真/ビデオ設定画面が表示されます。方向キー←→で写真/ビデオ設定から本体設定に切り替えられます。

本体設定では本体の設定を変更できます。方向キー↑↓で項目を選択し、方向キーの中央を押して項目を決定します。「メニューボタン」で戻ります。



本体設定

言語設定	メニュー表示言語を選択します。
画面の明るさ	ディスプレイの明るさを設定します。
日付-時刻	年月日と時刻を設定します。 ● 電池を取り外しすると設定した日時がリセットされます。再度日時を設定する必要があります。
光源周波数	ご使用の地域に合わせて周波数を選択します。
操作音	操作音のオン/オフを設定します。
電源オン/オフの音	起動時/シャットダウン時の音のオン/オフを設定します。
シャッター音	シャッター音のオン/オフを設定します。
音量	音量を設定します。

本体設定

スクリーンセーバー	無操作時に画面がオフになるまでの時間を設定します。画面がオフになったときは、何かボタンを押すと画面が再点灯されます。
自動電源オフ	無操作時に自動的に電源がオフになるまでの時間を設定します。 ● 3分以降に設定した場合、スクリーンセーバー起動後から電源オフまでの時間がカウントされます。
タイムスタンプ	写真/ビデオにタイムスタンプを追加します。
SDカードのフォーマット	microSDカードをフォーマットします。
工場出荷状態に戻す	本製品の設定を工場出荷状態に戻します。
ファームウェアバージョン	本製品のバージョンを表示します。

パソコンとの接続

パソコンと接続する

下記の手順でパソコンと接続してデータ転送できます。

- ① 電源がオンの状態で、本製品とパソコンを付属のUSBケーブルを使って接続します。
- ② USB接続のモード選択画面で「ストレージモード」を選択し、方向キーの中央を押します。
- ③ 本製品に挿入されたmicroSDカードのデータをパソコンから確認できます。パソコンの操作について詳細はパソコンの説明書をご確認ください。

- パソコンと接続してデータを転送している際は、USBケーブルを抜いたり、microSDカードを取り外したりしないでください。データが破損する可能性があります。
- パソコンとの接続を解除する場合は、パソコンからハードウェアの取り外しを行ってください。詳細はパソコンの説明書をご確認ください。
- パソコンとの接続を解除すると本製品の電源はオフになります。

パソコンとの接続

パソコンの外部カメラとして使用する

下記の手順でWindowsパソコンと接続して外部カメラとして使用できます。

- ① 電源がオンの状態で、本製品とパソコンを付属のUSBケーブルを使って接続します。
- ② USB接続のモード選択画面で「PCカメラ」を選択し、方向キーの中央を押します。
- ③ パソコンのカメラアプリ等で外部カメラとして本製品を選択します。パソコンの操作について詳細はパソコンの説明書をご確認ください。

- すべてのパソコンにおいて、動作を保証しているわけではありません。パソコンによっては本製品が外部カメラとして認識されない場合があります。
- パソコンとの接続を解除すると本製品の電源はオフになります。

パソコンとの接続

パソコンで充電する

下記の手順でパソコンと接続して本製品を充電できます。

- ① 電源がオンの状態で、本製品とパソコンを付属のUSBケーブルを使って接続します。
- ② USB接続のモード選択画面で「充電モード」を選択し、方向キーの中央を押します。本製品が充電されます。

トラブルシューティング

故障かなと思ったら

電源が入らない	○電池残量が無くなった可能性があります。充電をしてから再度電源をオンにしてみてください。 ○電源オンにする際は電源ボタンを約2秒長押ししてください。 ○電池が正しい向きで挿入されているか確認してください。
充電できない	○充電LEDが点灯しない場合、電池が正しく挿入されていないか、接触不良の可能性があります。電池が正しい向きで挿入されているか確認してください。 ○USBケーブルやAC電源アダプターが正しく接続されていない可能性があります。USBケーブルやAC電源アダプターが正しく接続されているか確認してください。 ○周囲の温度が低い場合、充電速度が遅くなったり、充電されない場合があります。
撮影した映像/写真がぼやける	○レンズ部に汚れが付着している場合があります。付属のクリーニングクロス等で撮影前にレンズ部の汚れを取ってください。

トラブルシューティング

ピントを合わせても画面中央の枠線が赤色から緑色に変わらない	○本製品の撮影推奨距離は30cm以上です。30cm以下の距離でも対象物にピントを合わせて撮影できますが、画面中央の枠線が赤色から緑色に変わりません。
電源がオフになってしまう	○自動電源オフがオンの場合、電池の消費を抑えるため、一定の時間が経つと自動的に電源がオフになります。自動電源オフの時間を変更する場合は、「本体設定」→「自動電源オフ」から時間を変更してください。 ○電池残量が無くなった可能性があります。充電をしてから再度電源をオンにしてみてください。
microSDカードが認識されない	○microSDカードが正しく挿入されているか確認してください。 ○microSDをカメラで初めて使用する際は、フォーマットすることをおすすめします。
「フォーマットが正しくありません」と表示されて撮影できない	○microSDカードの初期化が必要です。本体設定からmicroSDカードの初期化を行ってください。

トラブルシューティング

日時がリセットされる

○本製品に挿入された電池残量がなくなったり、電池を取り外したりすると、本製品の日時情報がリセットされます。再度日時を設定してください。

仕様

製品仕様について、詳細は製品のWEBページを参照してください。

<https://aiwa.net/products/aiwa-cam-dcb-3/spec/>



アフターサービス

保証書について

- 保証書は本マニュアルの裏表紙に記載されています。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管ください。
- 保証規定は、保証書に記載されておりますので、よくお読みください。

修理をご依頼の際は

- お問い合わせいただく前に、本マニュアルの「トラブルシューティング」のページをよくお読みください。
- ユーザーマニュアルの内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には、サポート窓口にお問い合わせください。

アフターサービス

アフターサービスについては、直接下記サポート窓口までお問い合わせください。

サポートセンター



0120-685-037

携帯電話から 050-2018-6203 (有料)

受付時間 10:00～12:00、13:00～17:00
(土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く)

.....
Eメールアドレス：support@aiwa.net

- 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- サポートセンターの電話番号、対応時間などは予告なく変更することがあります。
- 年末年始などのサポートセンターの休業日には、お客様への対応ができない場合がございます。
- 本製品に関するお問い合わせ、サポート、サービスについては、日本国内限定とさせていただきます。

アフターサービス

チャットサポート

製品購入後のサポートに関するお問い合わせをFAQ形式のチャットで受け付けております。
下記のURL、またはQRコードからウェブサイトにごアクセスいただき、対象の製品をお選びください。

<https://aiwa.net/chat-service/>



FAQで解決できない場合は、チャットサポート内で有人対応もしています。
有人対応受付時間 10:00～12:00、13:00～17:00
(土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く)

aiwa

aiwa.net

website



X



Facebook



ID : @aiwamarketingjp

製品名:aiwa cam DCB-3

販売元:アイワマーケティングジャパン株式会社

1-00260527